

三. 水との戦い

みずとのたたかい

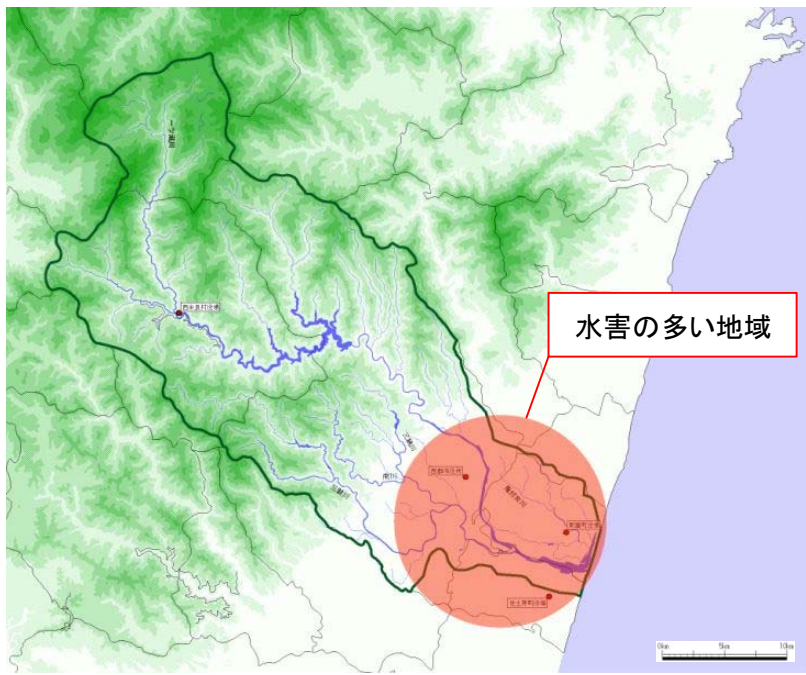


① 一ツ瀬川の水害の歴史 ひとつせがわのすいがいのれきし

ひとつせがわ りゅういき く ひとつと ゆた めぐ おお
 一ツ瀬川は、流域に暮らす人々に豊かな恵みをもたらすいっぽうで、大きな
 わざわ 災いももたらしました。それが、台風などによる水害です。
 りゅういき く ひとつと れきし みず たたか れきし
 流域に暮らす人々の歴史は、水との戦いの歴史でもあったのです。

(1) 水害の歴史 すいがい れきし

ひとつせがわりゅういき おお たいふう とお みち たいふう はっせい
 一ツ瀬川流域は、多くの台風の通り道となっています。そのため、台風が発生
 がつぜんこ おおく すいがい はっせい
 する9月前後には、これまで多くの水害が発生してきました。
 ひとつせがわ とく かわ なが ゆる すぎやすきょう かこう くかん すいがい
 一ツ瀬川では、特に川の流れの緩やかな杉安峡から河口までの区間に、水害
 ひがい しゅうちゅう
 の被害が集中しています。



写真：台風の被害の様子



どうして水害が
 おお
 多いんだろう？

(2) 過去の水害 かこ すいがい

ひとつせがわりゅういき せんぜん げんざい おお すいがい きろく のこ
 一ツ瀬川流域には、戦前から現在まで、多くの水害の記録が残されています。
 とく しょうわ ねん たいふう ごう みのがわりゅういき こ いえ みず つ
 特に、昭和41年の台風13号では、三納川流域の400戸もの家が水に浸かり
 ました。また、多くの木橋も流され、そのため116戸もの家が一時孤立して
 ひがい
 しまうほどの被害が出ました。

今までどんな水害があった
 のか、調べてみよう！



② 一ツ瀬川の治水の変遷 ひとつせがわのちすいのへんせん

たび重なる水害から暮らしを守るため、一ツ瀬川流域の人々は、昔から知恵と工夫を積み重ねてきました。治水の変遷は、流域の人々の水を治めるための努力の歴史ということが出来ます。

(1) 江戸時代の治水 えどじだいのちすい

江戸時代には、一ツ瀬川に浮かべたいかだや小舟で、農作物や木材を河口の福島港まで運んでいました。佐土原藩では、こうした舟が一ツ瀬川を通りやすいように、浅くなった川底の土砂を取り除いたり、船着場の護岸を整備したりしました。

江戸時代にも、ちゃんと治水が行われていたのね。



(2) 県内最初の河川改修事業 けんないさいしよ かせんかいしゅうじぎょう

明治時代になると、一ツ瀬川でも、川の流れを安定させるための工事、河川改修事業が行われました。一ツ瀬川は、昭和7年(1932)から、宮崎県の中でも最も早く、河川改修事業が行われました。それから約半世紀後の昭和58年、長い年月をかけて、ようやく一ツ瀬川の河川改修事業が完了しました。

写真：工事の風景



ずいぶん多くの方が、工事にたずさわっているんだなあ～



(3) 戦前の治水工事の様子

ひとつせがわりゅういきには、戦前の工事の様子を伝える写真が残っています。こうした写真から、かつての川の様子や、治水工事の様子を知ることができます。

写真に見る 戦前の治水工事の様子

土屋光弘さんの写真アルバムより



写真：堤防の上に設置されたトロッコ線路

かつて、ひとつせがわりゅういきでは、汽車にかわってトロッコを用いて、土砂を運搬していました。そのため、堤防づくりには多くの人や馬がかかりました。



写真：粗朶沈床作成風景



写真：水制工の組み立て風景

昔は人の力だけで工事をしていただね



(4) よみがえる伝統的水制工『牛柵工』

ひとつせがわ、せぐち、たけふち、さんざいかわ、うけげき、いわさき、でんとうきすいせいこう、うしわくこう
 ひとつせがわ、瀬口、竹淵、三財川の受関、岩崎では、伝統的水制工である「牛柵工」をよみがえらせました。



写真：ひとつせがわの竹淵（左岸）にある牛柵工

牛柵工は、木や石などの自然の素材を用いており、姿・形も造形的であるため、河川環境、河川景観になじんでいます。

また、自然素材を用いることにより、隙間の多い構造となるため、水辺に棲む多くの生物の生息・生育場を創出するなど、自然環境にも適合する工法として見直されています。

③ 一ツ瀬川の利水の変遷 ひとつせがわのりすいのへんせん

ひとつせがわりゅういき ひとびと みず おさ ちすい みず りょう りすい
 一ツ瀬川流域の人々は、水を治める治水だけではなく、水を利用する利水にも
ちえ くふう つ かさ
 知恵と工夫を積み重ねてきました。

りゅういき の うち うる お すぎやすい せき せき つく
 流域の農地を潤すために、杉安井堰をはじめとした堰やダムが造られました。
せき つく いぜん みずぐるま ようすい かつやく
 また、堰やダムが造られる以前には、水車や揚水ポンプが活躍していました。

ひとつせ すいりょくはつでん けんせつ りゅういき
 さらに、一ツ瀬ダムをはじめとして、水力発電のためのダムも建設され、流域
ひとびと でんりょく きょうきゅう
 の人々に電力を供給しています。



写真：一ツ瀬ダム



ぼくたちは、昔から
 いろいろなかたち
 で、一ツ瀬川を利用
 してきたんだね。

わたしたちの暮らしを支
 える一ツ瀬川を、これか
 らも大切にしていかな
 く
 てはいけないわね！

